

議会報告会 記録(概要) 報告書(民生教育班)

開催日時	令和4年10月11日 (火)午後2時00分～3時32分			
開催場所	本庁舎4階委員会室			
班員	青田 兆史	筒井 巖	山越 梯一	武田 幸雄
	和田 公伸	斎藤 久幸	高見 尚希	福田 悦子
参加者団体・人数	健康づくり推進員・5名		説明員: 担当部・課職員	
意見交換テーマ	各地域における健康づくりの取組について			
意見・課題など		会議の中で出た解決方法など		
<p>【支部ごとの問題・課題】</p> <p>●今市支部: 外来医療費では、腎不全、糖尿病、心疾患、高血圧が高く、入院医療費では、後期高齢者においては心疾患、骨折、筋骨格の疾患が高くなっている。</p> <p>●大沢支部: 外来医療費では腎不全、糖尿病、心疾患等が高く、入院医療費では、心疾患、呼吸器系疾患、悪性新生物が上位を占めている。</p> <p>●足尾支部: 高齢化率が高く、健診受診率が低い。朝ご飯を食べていない・簡単なもので済ませる児童が多い。</p> <p>●藤原支部: 医療費では、腎不全がもっとも高い。後期高齢者では、骨折、筋骨格系疾患が高い。藤原地域は縦に長く、食生活や高齢化率も一律ではない。</p> <p>●栗山支部: 高齢化率が高い。地域全域として外来・入院費においても腎不全が上位を占めている。健診受診率が低い。</p>		<p>【支部ごとの課題解決に向けた活動】</p> <p>●今市支部: 保育園などのおやこで食育教室(おやつ作り)、今市高等学校で食分科を選択している3年生の生徒に若者世代向けの生活習慣病予防のためのスキルアップ事業、お手玉を使った脳トレと食事のとり方についての講話などを実施。</p> <p>●大沢支部: 大沢公民館を利用し、大沢ふれあいまつり、放課後児童クラブでの食育教室、健康マイレージを使っての運動・食事教室の実施。</p> <p>●足尾支部: 足尾小学校調理室で朝食の大切さを学ぶ食育教室、足尾中学校で2年生のお弁当づくりや健診受診勧奨・減塩普及啓発活動のための訪問事業の実施。</p> <p>●藤原支部: 健診受診勧奨等を目的とした三依訪問事業、グランドゴルフ会場での健康づくりの普及啓発に向けた推進員コーナーの設置などを実施。</p> <p>●栗山支部: 健診受診勧奨等を目的とした栗山地域訪問事業等を実施。</p>		
<p>【班員から健康づくり推進員への意見】</p> <p>●健康づくり推進員の会費として1,000円を徴収しているようだが、会員を勧誘するにあたり足かせになったりはしていないのか。</p> <p>●健康づくり推進員が活発な活動をしているが、市民等における認知度が低いと感じる。</p>		<p>●各々が責任を持って事業活動をしているため、会費については問題ない。</p> <p>●健康づくり推進員が入る教室や訪問活動の際に推進員の活動についてのチラシの配付、健診結果説明会時に推進員コーナーの設置や広報への掲載を行い周知啓発を図っている。</p>		
<p>【健康づくり推進員の課題】</p> <p>健康づくり推進員の高齢化(平均年齢73歳)。 健康づくり推進員の減少(地域によって推進員が少ない・いない地区がある)</p>		<p>行政との関わりについては、どうしても健康推進委員と行政との関わりは不可欠のため、更に関わるべき。推進員の活動をもっとPRすべき。会員増加のためのコミュニケーションを大切にしている。</p>		
<p>【班としての総括・今後の方向性】</p> <p>健康づくり推進員は、住民組織等による活動の特性を理解し、その自主性・自立性を尊重しつつ連携を進め、住民が主体となったまちづくりを進めるとともに、健康寿命の延伸に向けて市民の健康づくりを支援することを目的に活動している。(令和4年7月現在、会員145名で平均年齢73歳)</p> <p>各地域の弱み強みを的確に把握し、様々な取り組みを各支部ごとに考え、特徴ある事業に取り組んでいた。課題としては会員数の減少、高齢者の増加など今後活動が出来なくなる可能性もある支部もあることから、この状況を解消していくような方策を検討していく必要がある。</p> <p>今後は委員会として、今回の報告会で出た課題解決のため先進地視察を行うとともに、更に良い事業展開を図るため、調査研究を行うべきと捉える。また先進地視察後も執行部との意見交換を行い、日光市全体の健康管理への取組内容の検討や、健康づくり推進員が活動しやすい環境づくりについて検討していく。</p>				

広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和4年12月6日

班長 青田 兆史